

環境地理学科履修モデル

環境地理学科を構成する諸分野を踏まえて、次の4つの履修モデルを提示した。カリキュラムを組む際に参考にしてもらいたい。

① 人文・社会環境地理領域を主に学ぼうとする場合

必修科目群と選択必修科目の「野外調査法2」を履修するとともに、表2で「系統的人文地理」の講義・実習科目を主とし、それ以外の講義・実習科目を従として、選択して履修する。自分の関心テーマに対応した科目群やゼミを選択して、専門的知識・技能を高め、研究能力を育成してほしい。

② 自然環境地理領域を主に学ぼうとする場合

必修科目群と選択必修科目の「野外調査法2」を履修するとともに、表2で「系統的自然地理」の講義・実習科目を主とし、それ以外は上記に準じて、専門的知識・技能を高め、研究能力を育成してほしい。

③ 地誌・地域研究領域を主に学ぼうとする場合

必修科目群と選択必修科目の「野外調査法2」を履修するとともに、「地誌・地域研究」の講義・実習科目を主とし、それ以外の講義・実習科目を従として、選択して履修する。自然・人文を総合する専門的知識・技能を高め、研究能力を育成してほしい。

④ 空間情報領域をさらに学ぼうとする場合

①～③のいずれかの学修に努めるとともに、空間情報領域をさらに学ぼうとする場合は、次の履修を心がけてほしい。必修科目群と選択必修科目の「野外調査法2」を履修するとともに、「環境地図学1」「同2」「空間情報学1」「同2」「測量学」「応用測量学」「測量学実習」「地理情報システム実習1」「同2」「リモートセンシング実習1」「同2」を履修する。これらを通じて、卒業要件単位を満たす選択必修科目の講義や実習科目を選択して履修する。その上で、GISを活用して卒業論文を作成する。

なお、上に述べた履修モデルの如何にかかわらず、卒業要件は学科全体で同一である。

※「履修モデル」はあくまで目安として、履修登録をする際には、必ず入学年度の学修ガイドブックに記載されている、自身が所属する学科の「転換・導入科目、教養科目、外国語科目一覧」、「専門科目一覧」で卒業要件を満たせる計画であることを確認すること。